

令和8年度 学校経営計画書

石川県立金沢錦丘中学校
校長 宮坂 巖

1 教育目標

高い志を育み、豊かな心と知性、健やかな身体を培い、地域や国家、国際社会の持続可能な発展に貢献できる人材を育成する。

2 中・長期的目標

(1) 学校の現状

- ① 基本的な生活習慣を身に付けている生徒が多く、ルールやマナーを守るなど場に応じた行動ができる生徒が多い。
- ② 学習に意欲的に取り組み、自分の考えを豊かに表現できる生徒が多い。
- ③ 高校生の姿を身近に見ることで、自己実現に向けて努力しようとする姿勢が見られる。

(2) 生徒に関する目標

- ① 「自律的に学び続ける生徒」を育成する。
- ② 生徒一人一人のよさを引き出し、認め、伸ばす教育を推進し、「自己有用感の高い生徒」を育成する。
- ③ 「自らのキャリアを常に意識できる生徒」を育成する。
- ④ 安全知識を身に付け、常に安全意識を持ち続け、「自分の命は自分で守る」を原則に、自他の生命を尊重した行動ができる人材を育成する。

(3) 教職員、学校組織等の望ましい在り方

- ① 組織の一員としての当事者意識を持って、教育目標の実現に向けて積極的に学校運営に参画する。
- ② 学校研究を中心に指導方法や指導体制の工夫改善に努めるとともに、実践指導力を高めるための自己啓発はもとより、OJT機能を十分に発揮して、授業力向上に努める。
- ③ 教職員の危機管理意識を高めるとともに、併設高校やろう学校、家庭・地域などと連携を強化し、生徒一人一人が安心・安全に学校生活を送れるような学校づくりを心がける。
- ④ 教職員の働き方や業務の平準化に関する意識改革を図るとともに、継続的に取り組みの評価・改善を行っていく。

3 今年度の重点目標

- (1) 中高一貫教育校の特長を活かし、学び方や生き方の質を高め、生徒一人一人のよさを引き出し、認め、伸ばすために指導の工夫・改善を図る。
- (2) 学校研究の一層の充実を図り、令和の日本型学校教育を実践することで、「自ら進んで学ぶ姿勢」や「規範意識と人権感覚」を身に付け、「ウェルビーイング」を実現しながら、自己実現に向かって日々努力する生徒の育成を目指す。
- (3) 生徒の自己実現の醸成の場となるよう、日頃から危機管理の意識を高め、安心・安全な学校づくりを目指す。